

(介護職員初任者研修) 研修カリキュラム

事業所名:株式会社 ニチイ学館

研修形式: 通信形式

研修科目・項目名及び研修時間数	時間数	実施方法
1 職務の理解 6時間	6	
1-1 多様なサービスの理解	3	講義
1-2 介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	講義
2 介護における尊厳の保持・自立支援 9時間	9	
2-1 人権と尊厳を支える介護	1	講義
	3.5	【通信】
2-2 自立に向けた介護	0.5	講義
	4	【通信】
3 介護の基本 6時間	6	
3-1 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1	講義
	0.5	【通信】
3-2 介護職の職業倫理	0.5	講義
	1	【通信】
3-3 介護における安全の確保とリスクマネジメント	0.5	講義
	1	【通信】
3-4 介護職の安全	0.5	講義
	0.5	演習
	0.5	【通信】
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	9	
4-1 介護保険制度	0.5	講義
	2.5	【通信】
4-2 医療との連携とリハビリテーション	0.5	講義
	2.5	【通信】
4-3 障害者自立支援制度およびその他制度	0.5	講義
	2.5	【通信】
5 介護におけるコミュニケーション技術 6時間	6	
5-1 介護におけるコミュニケーション	1	講義
	0.5	演習
	1.5	【通信】
5-2 介護におけるチームのコミュニケーション	1.5	講義
	1.5	【通信】
6 老化の理解 6時間	6	
6-1 老化に伴うこころとからだの変化と日常	1.5	講義
	1.5	【通信】
6-2 高齢者と健康	1.5	講義
	1.5	【通信】
7 認知症の理解 6時間	6	
7-1 認知症を取り巻く状況	1	講義
7-2 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2.5	講義
7-3 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5	講義
7-4 家族への支援	1	講義
8 障害の理解 3時間	3	
8-1 障害の基礎的理解	0.5	講義
8-2 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、 かかわり支援等の基礎的知識	1.5	講義
8-3 家族の心理、かかわり支援の理解	1	講義

研修科目・項目名及び研修時間数	時間数	実施方法
9 ところとからだのしくみと生活支援技術 75時間	75	
基本知識の学習 … 10-13時間	10	
9-1 介護の基本的な考え方	3	講義
	0.25	【通信】
9-2 介護に関するところのしくみの基礎的理解	3	講義
	0.5	【通信】
9-3 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	3	講義
	0.25	【通信】
生活支援技術の講義・演習 … 50-55時間 (うち技術演習 5-6 割)	54.5 (28)	
9-4 生活と家事	1	講義
	2	演習(技術)
	1	【通信】
9-5 快適な居住環境整備と介護	1	講義
	2	演習(技術)
	1	【通信】
9-6 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	2	講義
	4	演習(技術)
	2	【通信】
9-7 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	2	講義
	4	演習(技術)
	1	【通信】
9-8 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	2	講義
	4	演習(技術)
	1	【通信】
9-9 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	2	講義
	4	演習(技術)
	1	【通信】
9-10 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	2	講義
	4	演習(技術)
	1	【通信】
9-11 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	2	講義
	4	演習(技術)
	1	【通信】
9-12 死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	1.5	講義
	2	【通信】
生活支援技術演習 … 10-12時間	10.5	
9-13 介護過程の基礎的理解	1.5	講義
	3	演習
9-14 総合生活支援技術演習	4	講義
	2	演習
10 振り返り 4時間	4	
10-1 振り返り	3	講義
10-2 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	1	講義
計 130時間	130	

計 130時間

講義 60時間 演習 34時間
通信 36時間

通信学習実施計画書(介護職員初任者研修)

1 講義を通信の方法によって行う地域

岐阜県・愛知県・三重県内地域。

2 科目ごとの通信学習実施時間

科目	通信形式で実施できる上限時間	通信学習実施時間
1 職務の理解	0時間	0.0時間
2 介護における尊厳の保持・自立支援	7.5時間	7.5時間
3 介護の基本	3時間	3.0時間
4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	7.5時間	7.5時間
5 介護におけるコミュニケーション技術	3時間	3.0時間
6 老化の理解	3時間	3.0時間
7 認知症の理解	3時間	0.0時間
8 障害の理解	1.5時間	0.0時間
9 こころのからだのしくみと生活支援	12時間	12.0時間
10 振り返り	0時間	0.0時間
合計	40.5時間	36.0時間

3 添削指導及び面接指導の実施方法

講師要件を満たす講師が採点をし、講評を記入し後日本人に返却。

4 通信課題の問題形式

択一問題、語句選択、記述式問題

5 評価基準及び及第点

70点以上を合格者とする。

6 及第点に達しない場合の対応方法

70点に達するまで再提出。